

兩足のものな
かわる處な
ることを得
訓練、消防、
悉く之を利用
或は工場係員
七料補助等の
忠疏通に専念
出で、曩に本
するに當り主
其の受給直後
成し、營々と
労働組合が隙
全く寧日の

たる日給増
る會社は勿
前の事實た
に際し會社
勝を制し、

とし、焦心
大爭議を惹

て、從來會
轉する貨物

したる上、
は事若し假
分之を救濟
して(九三)

(九三)合
從業員の問題
め吾々來らば

視しました。然るに爭議團幹部は勝利眼前にありと號し、事終熄の曉は復歸就業の爲めの罷業なるに拘らず爭議主體の名義を著し會社に對し公然誹謗の惡宣傳を爲し、信用を傷け損失を招徠せしめんと謀り、斯種非道の行動を爲すこと前後數回に亘る等、あらゆる手段を盡して敵對行動を爲し、益々團員を煽動して集合所に抑留しましたので、會社は爭議團の行動を注視し罷業工員の心意を忖度し、生産協力者として頼むに足らざるを觀破し、日々増加する出勤工員と臨時職工とを以て十一月三日第一第七第十二、十九日第十四、二十九日第六第八第十三、各工場の作業を開始し、その他第四、第五、第十六各工場の之より先既に出荷作業を開始するあり、茲に全く一齊操業を見るに至りましたが、尙逐次復歸出勤する者の爲め相當就業の餘地を残して置きました。而して、作業開始後の成績を檢討致しますのに、未熟練工大部分を占め居るに拘はらず、その実績は數年來會て見るを得ざる程良好で、得意先より賞讃を受け、諸味査定の衝に當れる技術者は口を極めて褒辭を與へ、量と質と何れより觀るも申分なき実績を擧げて居ります。又多數の得意株主其他直接間接縁故を有せらるゝ方々の御聲援と御鞭撻とは引きも切らぬ程で、當事者の爲めには非常なる心強さを感じました。此の間に於て出勤催告に應じて若干の復歸出勤者ありましたが、自ら醒むる能はずして爭議團に留まる者少くありません。併し事情の何れたるを問はず、會社に對しその胸奥より敵意を有し而も斯く浸潤甚だ深きものある以上一たび解きて更に新にするの外、會社として他に採るべき策なきを認め、斷然出勤催告書明示の通、工員親定第十七條及同第六十一條第四號に依り、去る十三日附を以て、百四十九名を懲戒解雇し、爾來數日、更に反省の機縁を與へたるも、愈々敵意を深くして悖むるの風なきを確認し、二十日附を以て、入營、病氣その他、特に宥恕すべき者を除き、七百三十五名を懲戒解雇致しました。

顛末乃至經過の概要前叙の通りであります。大方の各位は、此の實情を御詳知下さつて、必ずや、會社の採りたる態度は決して單に經濟的爭議とのみ觀るべきでなく、道義維持の爲めにも亦眞に餘儀なき必要に出で、従つて今回の解雇が單に労働組合員たるの故でなく、産業人として特亦社會人として極めて不適當なると同時に、動もすれば國家産業を破壊に導かんとする虞ある者を淘汰し、内は以て社規を振肅して經營の基礎を鞏くし、外は以て條理を正して社會正義を確立せんとするに出でたる當爲の措置たるを諒承せらるゝであらうことを確信致します。

終りに、被解雇者諸君に切望致し置きたきは、諸君は會社今回の處分を失當とし扼腕憤慨さるゝに先ち、我執を押し冷靜に考慮し、既往の自己を正視して出來得る限り誤らざる見解を持ち、速に幸福なる新生涯に入らんことは是であります。會社は、諸君が希望に輝ける新生涯に入らるゝ日の一日も速かならんことを禱つて止みませぬ。

野田醬油株式會社